

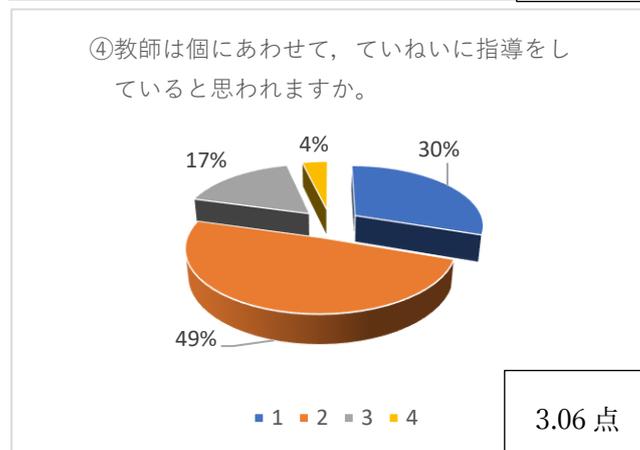
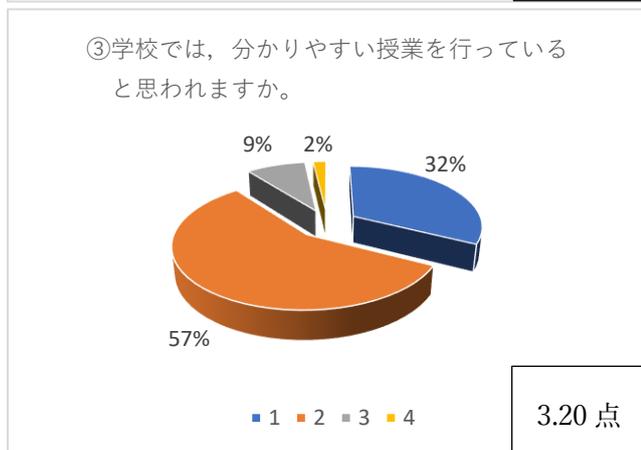
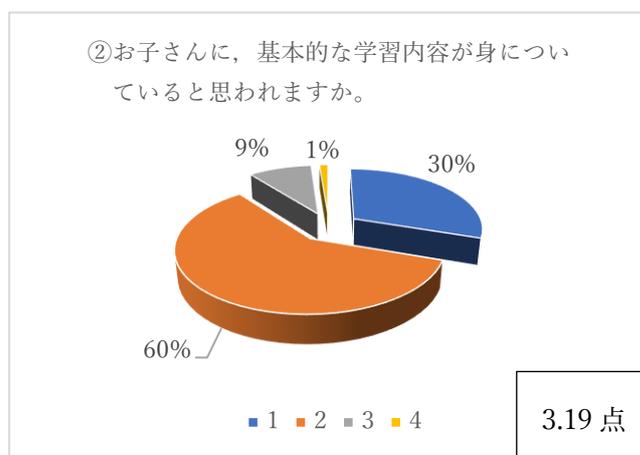
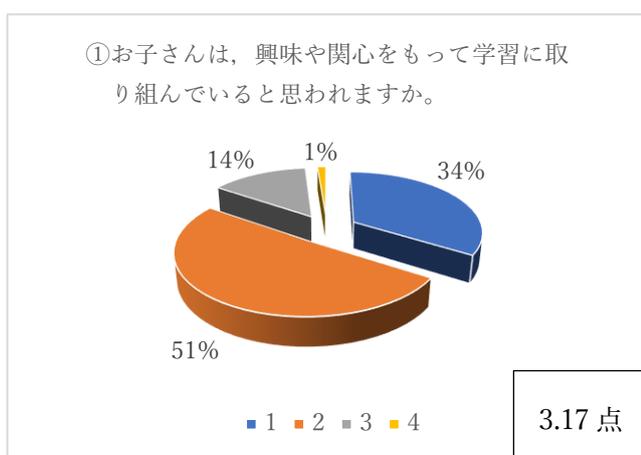
令和4年度 学校評価アンケートのまとめ

下諏訪南小学校 田中 直紀

保護者の皆様には「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。評価結果と考察をまとめ、また、それをもとにした次年度への構想について、ご報告いたします。

- ◇回収率：アンケートは全校児童（577人）にのうち、324件のご回答をいただきました。回答率は56.2%です。
- ◇平均値：4段階評価を数値化し、平均したもの
十分：4点 おおむねよい：3点 やや不十分：2点 不十分：1点 として計算しました。
- ◇グラフの凡例は、1：十分 2：おおむねよい 3：やや不十分 4：不十分 です。

1 基礎的・基本的な内容の定着に向けた魅力ある授業作り



過去三年間の平均点と比較してみました。

設問①R1:3.25, R2:3.24, R3:3.23

設問③R1:3.27, R2:3.26, R3:3.24

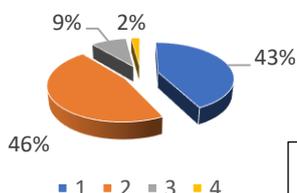
設問②R1:3.19, R2:3.22, R3:3.19

設問④R1:3.11, R2:3.10, R3:3.04

設問①、②、③、④とも、過年度と比較してほぼ同じ結果が出ています。アンケート結果を真摯に受け止め、これからの授業作りにかかしていきたいと思えます。過年度と比較し、点数が下落している設問①については、子ども達の興味・関心を大切に、子どもたち自らが「考えていきたい。」と思えるような授業作りをより工夫し、行っていきたいと思えます。設問②については、引き続き授業を中心に、家庭学習の内容も考え、定着を図っていききたいと思えます。学校では「チャレンジタイム」という基礎基本の内容の定着を図るドリルなどの時間を設定しています。学年で内容を検討しながら基礎的・基本的な内容の一層の定着を図りたいと思えます。設問③については、「ねらい」「めりはり」「みとどけ」の3観点を大切に、より分かりやすい授業を目指していきたいと思えます。設問④の個に応じた指導については、子どもが主体的に活動する授業を心がけ、個に応じた指導助言していきたいと思えます。また、少人数学習担当とのTTでは、児童の困り感に寄り添い、ていねいな個別支援をしていきます。

2 総合的な学習の時間・生活科の充実

⑤総合的な学習の時間や生活科では、地域や身のまわりと関わり合いながら学んだり、興味をもって学んだりする活動になっていると思われますか。



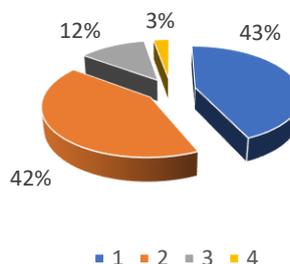
3.29 点

設問⑤R1:3.40, R2:3.29, R3:3.27

昨年度より評価が0.02上がり令和2年度と同じ数値となりました。コロナ禍にあって各学級学年で感染防止に配慮しながら、子ども主体にした活動や子どもと担任とで紡ぐ丁寧な学びを実践した成果と思われます。今後とも、子どもと共に課題追究や課題解決する質の高い総合生活科の学習活動を地道に推進していきましょう。

3 英語学習の推進

⑥お子さんは、楽しく英語を学習していると思われますか。



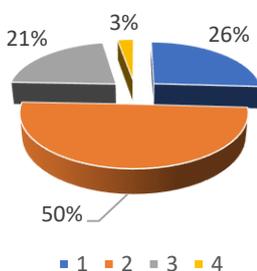
3.26 点

設問⑥R1:3.16, R2:3.17, R3:3.14

低下傾向が続いていたこの項目ですが、今年度は上昇が見られました。ELTと学級担任が連携をとりながら、また、5・6年生は英語担当教諭が入って、授業でのワークシートの振り返りや、次時につながる課題把握に努めています。今後も、児童が楽しいと思える教科学習を大切にしていきたいです。

4 豊かな人間性の教育

⑦お子さんは、家の人や地域の人に挨拶をしていますか。

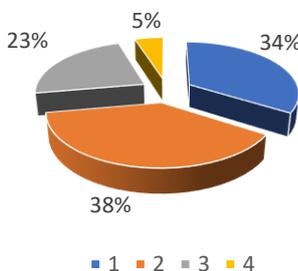


2.99 点

設問⑦R1:3.03, R2:3.03, R3:3.00

設問⑦は、昨年度よりやや低くなっています。3年続けて減少傾向にあります。昨年度同様、コロナの影響から、マスク着用の生活様式が定着する中で、元気に声を出したりコミュニケーションしたりする機会が少なくなっているのではないかと考えられます。学校では、児童会が中心となり、毎朝児童玄関で元気なあいさつの声を響かせています。学校職員からも積極的にあいさつを行ない、子どもたちのあいさつの意識が高まるように、周りの大人たちの方から子どもたちに関わっていくことが大切ではないかと考えています。

⑧朝読書や家庭読書などにより、お子さんは本に親しむ機会が増えましたか。

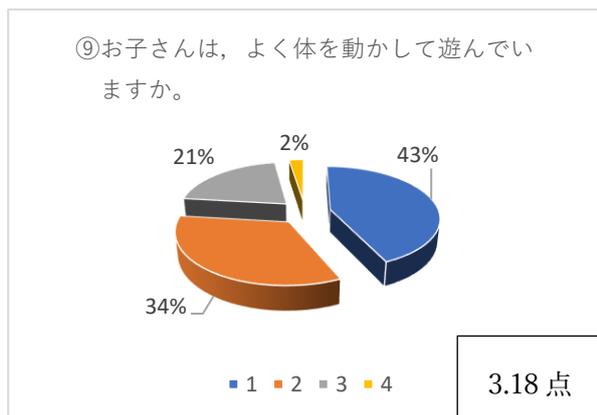


3.01 点

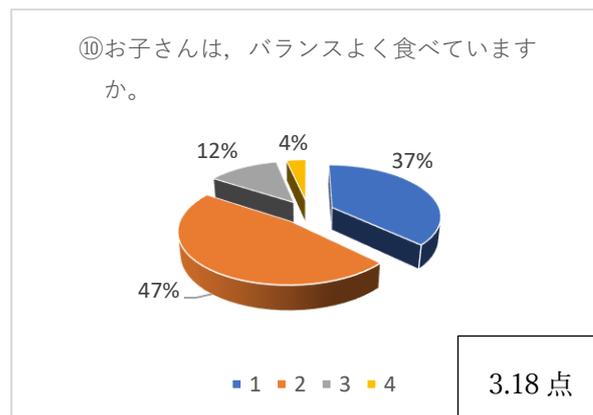
設問⑧R1:3.10, R2:3.11, R3:3.06

設問⑧は、昨年度よりやや低い評価です。本年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の配慮から保護者の方の読み聞かせが十分には行えませんでした。また、休み時間の図書館利用も学年後とごとに割り振られ、貸し出しの日が制限されるなども子ども達が本に親しむ機会が減っていることに繋がっていると考えられます。3学期に入り、休み時間の利用制限がなくなり、図書館へ足を運ぶ児童が増えつつあります。子どもたちの読書に向かう意識が高まるよう、積極的に本を紹介したり、読み聞かせをしたりする活動を取り入れ、本に関わる良さを味わわせる機会を作っていくようにしていきます。また、お家では、引き続き町一斉家庭読書等の機会を通して、親子で一緒に本に親しむ時間を持ち、本に触れた時のぬくもりを味わえるようにしていただくようご協力をお願いします。

5 健康な体をつくる教育



設問⑨R1:3.28, R2:3.28, R3:3.23

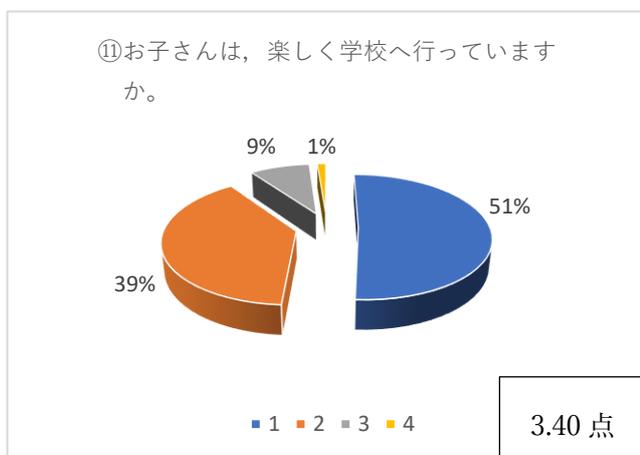


設問⑩R1:3.25, R2:3.23, R3:3.16

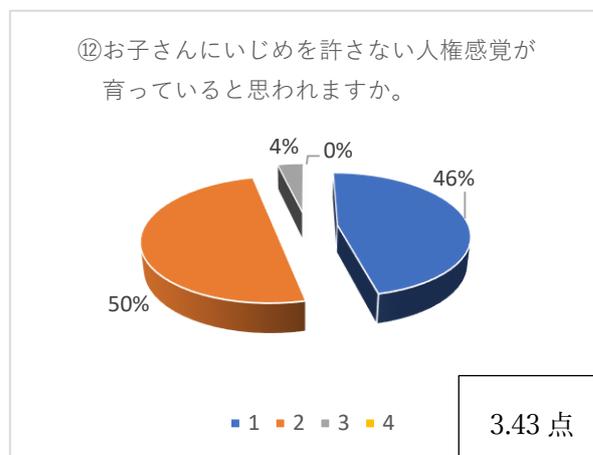
設問⑨は、昨年度より低い評価になりました。スポーツ庁が行っている「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」でも、小中学生の体力、運動能力の低下が報告されています。新型コロナウイルス対策の影響を受け、運動時間の減少、テレビ・スマホ等での映像視聴時間の増加などが一因として挙げられています。学校では、休み時間に多くの児童が外遊びを楽しめるような工夫をしたり、運動に苦手意識のある児童も楽しく運動に取り組める体育の授業を計画したりして体を動かす機会を多く作れるよう努めます。

設問⑩は、昨年度よりわずかに評価が上がりました。学校給食では、子どもたちの嗜好に配慮しながら必要な栄養が取れるよう、献立を工夫したり、毎日のお昼の放送で献立メモの発表など、食への関心が広がる活動を行ったりして、毎日の給食が食育となるよう取り組んでいます。今後も、栄養教諭の専門性を生かした指導や、児童委員会の啓発活動等を充実させていきたいと思っています。

6 認め合える学級作り



設問⑪R1:3.49, R2:3.50, R3:3.43

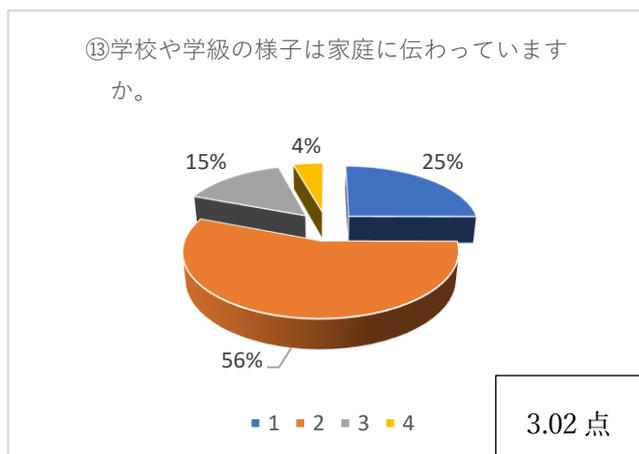


設問⑫R1:3.33, R2:3.42, R3:3.38

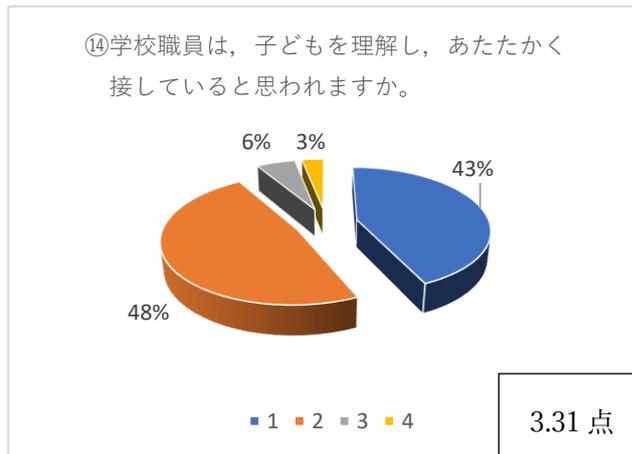
設問⑪は、昨年度より低い評価になりました。「あまり思わない」「思わない」の原因が学習面にあるのか、交友関係にあるのか、より詳しくより正確に把握し、ご家庭と連絡を取りながら、一人ひとりに応じた支援をしていきたいと思っています。

設問⑫は、昨年度より高い評価になり、ここ数年の中で一番高い評価になりました。いじめの指導については、日頃から「いじめを許さない指導」を行い、起こってしまった時には保護者も交えて素早く厳正に対応させていただいていることへの評価と考えます。毎年実施している「じんけんアンケート」の結果も全職員で広く共有しながら引き続き指導していきます。「トラブルの解決は人権学習そのもの」という立場から、今後も子どもたちの人権感覚を育てていきたいと思っています。また、毎時間の授業、毎日の学校生活という日常の中で、人権についての指導を意識して行っていきたいと思っています。

7 学校教育の全体に関わって



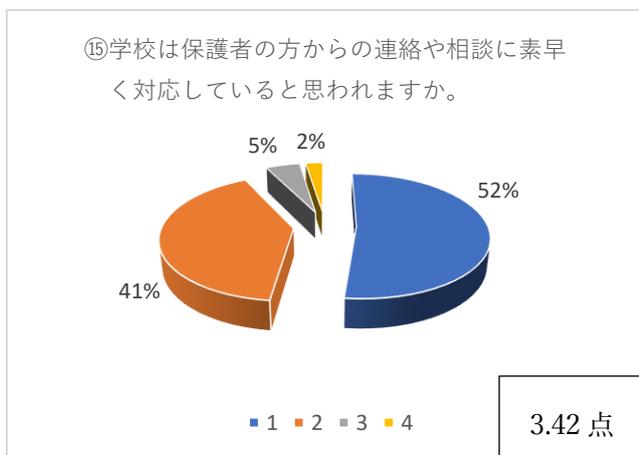
設問⑬R1 : 3.05, R2:3.07, R3:3.02



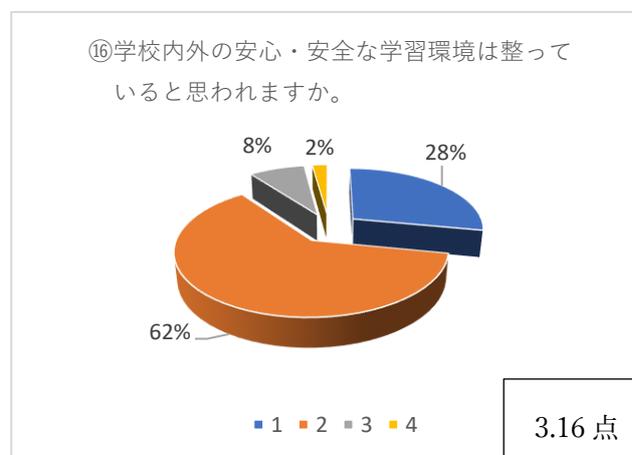
設問⑭R1 : 3.29, R2:3.30, R3:3.26

設問⑬は、昨年度と評価の比率は同じですが、一昨年からはやや下がったまま横ばいということになります。引き続き、学校だよりや学年通信、学級通信の発行を通して、内容やその仕方については工夫を凝らしながら、子どもたちの学びの様子や連絡などをお知らせするように努めて参りたいと思います。また、新型コロナウイルス感染の状況を見ながらですが、参観日や行事等、コロナ前の形に戻せるところは徐々に戻していき、ご来校いただく機会を増やしつつ、子どもたちの学びや活動の実際の様子を見て頂けるようにしていきたいと思います。

設問⑭は、昨年度より評価が上がりました。コロナ禍において制約の多い学校生活を送る子どもたちに心を寄せ、子どもたちの様子を客観的にとらえながら、接し方や支援の方向について職員みんなで見直し取り組んできたことが、少しずつ実を結んでいるものと思われます。これからも、一人ひとりの声を聞き、子どもたちの成長を願って心のこもった支援を心がけていきたいと思ひます。



設問⑮R1:3.38, R2:3.41, R3:3.39



設問⑯R1:3.22, R2:3.27, R3:3.18

設問⑮⑯のいずれも昨年度に比べ、点数的には大きく変わっていませんが、「十分」と「おおむねよい」を合わせると90%を超えており、学校の対応や学習環境について、理解していただけているのではないかと考えます。設問⑮については、今年度もコロナ禍で、予定していたとおりに進まないこともありましたが、家庭への連絡や報告については、落ちのないように気をつけてまいりました。また、担任一人で抱え込まないように学年、全校職員がチームとなって対応していくことを大切にしてきました。「十分」という回答が半数を超えていることは、学校としてもうれしく思います。とは言っても、不十分な点もあったかと思ひます。今後も、保護者の皆様の声を大切に、真摯に受けとめてまいりたいと思ひます。設問⑯について、今年度は日々の清掃時間を大切にしてきました。毎日15分という短い清掃時間ですが、開始時の「静の時間」は全校中が静まりかえり、今日の清掃の目標を心の中で考えることのできる児童は増えてきています。また「無言清掃」も心がけ、教師も注意の声がけを少なくしてきました。口を動かすより手足を動かして、きれいな校舎にすることを頑張ってきました。整った環境から、安心・安全な学習環境が生まれてくることを、これからも大切にしていきたいと思ひます。

おわりに

学校評価アンケートは、学校運営を独りよがりにならないために、保護者の皆様から客観的な評価やご意見をいただくものです。本年度は、項目ごとに評価が上がったものと下がったものに分かれました。評価が上がったものについては今年度の取り組みを継続し、下がったものについては新たな改善策を検討の上、実行していきたいと考えています。これからも引き続き、子ども達がより楽しく学べる環境を作っていくように工夫や努力を続けていきたいと思ひます。

また、今年度も昨年度に引き続きコロナ禍での学校運営が続きましたが、子ども達のがんばりと保護者の皆様、地域の方々のご協力により、子ども達の成長を支援していくことができました。自ら問いを見だし、その解決策も自分で見つけていく。子どもたちにそんな力が身につく支援ができるよう、職員も研修を積んでいく計画です。

そして学校では現在、来年度に向けて、保護者の皆様からいただいた意見を大切にしながら、様々な改善を検討しております。新型コロナウイルス感染防止の対応が大きく変わると予想される来年度の方向を明確にしていきたいと思ひます。

最後になりましたが、学校評価アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

◇このアンケートのまとめについてのご意見・お問い合わせは、下諏訪南小学校教頭 名取 充
(Tel27-5000)まで お寄せください。

この学校評価アンケートの
まとめは Web サイトで見ること
ができます。

グラフもカラーになりますので
ぜひご覧ください。

